

# タルセバ錠を服用している患者さんの 服用情報の研究利用について

## ータルセバ錠を投与されている患者さんへー

(研究名：「エルロチニブ塩酸塩(タルセバ錠)の皮膚障害予防を目的とした保湿剤の有用性の検討」)

タルセバ錠を服用すると、多くの方に何らかの皮膚症状（発疹や乾燥肌、かゆみ、皮膚が赤くなる、爪のまわりが腫れたり亀裂などが生じて痛みを伴う等）が現れてきます。この皮膚症状が原因でお薬の量が減ったり、休薬になることがあります。このため、いかに皮膚症状をうまくコントロールしながらタルセバ錠による治療を続けていくことができるかが重要となっております。

そこで、あらかじめ予防的に保湿剤を塗布することで、皮膚症状の発現までの時間を遅らせたり、皮膚症状が出てしまっても軽度で抑えられるのではと考え、今回の研究を行うことになりました。

研究内容といたしましては、保湿剤を塗った方と塗っていない方で皮膚症状の発現に違いがあるのか比較します。このため、すでにタルセバ錠を服用中で予防的に保湿剤を塗っていなかった方の服用状況と皮膚障害発現までの期間を調査することとなりました。

具体的に研究対象となるのは、2010年10月1日から2011年9月30日までの間にタルセバ錠を投与された患者さんです。調査する項目はタルセバ錠の服用状況と皮膚障害発現までの期間に関する情報です。これらの情報はこの研究のためだけに利用され、個人の氏名や住所など個人情報に特定されるようなことは決してありません。また、研究結果を学会や学術雑誌などで報告することがありますが、その際にも個人情報が公表されることは決してありません。

本研究の対象者に該当する患者さんで、研究に同意されない方は遠慮なくお申し出ください。同意されなくても、治療上不利益を受けることは一切ありませんのでご安心ください。また、本研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までご連絡下さい。

連絡先

〒136-0075 東京都江東区新砂 3-3-20

順天堂大学医学部附属

順天堂東京江東高齢者医療センター

薬剤科 藤井瑞恵（研究責任者）

薬剤科 宗 村盛

TEL : 03-5632-3111（代表）